



左から、青野トレーナー、松田選手、福岡選手



1

ラグビー日本代表選手とがっちりスクラム

11/19

ラグビーW杯2019全日本代表の福岡堅樹選手、松田力也選手と全日本代表チームトレーナーの青野淳之介さんが笠間中学校を訪れ、「夢授業—日本ラグビー代表選手とがっちりスクラム」が行われました。

ラグビーボールを実際に使った投げ方の指導も行われ、全員とハイタッチすると会場は大盛り上がり。

最後に3人から子どもたちに対し、「夢と希望をあきらめないで、努力してほしい。必ず道はひらけると信じて。」とエールが贈られました。

2

スポーツを通して健全な心と身体を育てる

11/30

笠間小学校で、元プロ野球選手でU12日本代表監督の仁志敏久さんによる講演会「ドリームリーガー〜君の夢☆今、走り出す!〜」と野球教室が行われました。

講演会では、子ども達への指導において、野球技術だけでなく自分で考えて行動できるような自立の促進を心掛けている、といったご自分の指導方針や、常総学院時代の木内監督とのエピソードなどが語られました。

野球教室には、市内のスポーツ少年団やリトルリーグに所属する約50名の野球少年・少女が参加し、走塁のポイントやグローブの使い方など、直接指導を受けました。

3

かさまみらいフェアを実施

11/2

「いいお産の日」のイベントとして「かさまみらいフェア」を行いました。

当日は、大人と子ども84人が参加し、ハイハイレース、絵本「びよん」で赤ちゃんアート、親子でおもちやづくり、フレイムデコレーション、ハーバリウム作りなどと、手作りおやつを食べながらのおしゃべりを楽しみました。

4

You・遊文化スクールを開催

11/9

笠間市文化協会が毎年開催している、幼児から大人までが参加できる親子交流・三世代交流を目的とした体験型文化祭「第12回You・遊文化スクール」が友部公民館で開催されました。

参加者は、茶道や茶の湯体験、ミニ盆栽づくり、紙飛行機工作などのもの作り体験のほか、子ども俳句大会やジュニア短歌大会、普段は触れることのない「アイリッシュハーブ」体験や、スクエアステップ・高齢者の転倒予防・認知機能向上と体力づくりのためのエクササイズなど、文化体験を通してお互いに交流を楽しみました。



アイリッシュハーブ体験



親子でおもちやづくりの様子



ボールの握り方を指導する仁志さん



右から、イチカワ櫛岩間工場の諸川工場長、

右からイトキン株式会社 SCM 部課長 宮澤さん、表彰状を手にする山口市長、山口市長、イトキン株式会社 SCM 部 佐野さん

表彰状を手にする山口市長

7

寄付をいただきました

11/19

イチカワ櫛岩間工場の諸川工場長が市を訪れ、「創業70周年に伴う慈善活動として、障害福祉施策に活用していただきたい」と30万円を寄付してくださいました。
 いただいた寄付金は、障がい者の意思疎通環境向上のために使用するコミュニケーションボードや「ふれあいスポーツの集い」の運営備品の購入等に使用させていただきます。

6

アートフラワーが寄贈されました

11/12

岩間地区の物流センター「イトキン株式会社」SCM部の宮澤課長と佐野さんが、近況報告とアートフラワーのPRに市を表敬訪問されました。
 おもに衣料品の製造販売を行っているイトキンですが、アートフラワー（造花）ブランド「EMILIO ROBBAI」も扱っていて、今回PRを兼ねて、市にアートフラワーを寄贈していただきました。

5

国土交通省から表彰されました

10/12

笠間市の「空家への取り組み」が評価され、国土交通省から「第31回住生活月間功労者住宅局長表彰」を受賞しました。
 早くから「空家・空地バンク制度」に取り組み、関係団体と連携をとりながら活性化させてきたこと、バンクの成約率が約8割と高いこと、空家の除去・利活用を推進してきたことなどが評価されました。

9

ボートレースの売上が地域貢献に！

11/28

ボートレースチケットショップ岩間は、浜名湖競艇企業団（静岡県浜松市および湖西市）がモーターボート競走法に基づき開場しているボートレースの場外発売場です。

同企業団からは、市との協定に基づき毎年売上の一部（平成30年度は約4497万円）が地域貢献の一環として支払われ、市では行政運営の貴重な財源として活用しています。
 また、「笠間の菊まつり」期間中には菊を展示し、来場者へ菊まつりのPRを行い、毎月一回の施設周辺の清掃により環境美化に貢献するなど、地元から愛される施設を目指した取り組みを行っています。

8

安全・安心のまちづくり活動に対する寄付

11/28

笠間遊技場組合より30万円の寄付をいただきました。笠間遊技場組合からは毎年寄付をいただいでいて、その寄付金等で設置した防犯カメラによって、ひき逃げ事件が解決したこともありま。
 東原宝組合長は「安全・安心なまちづくりのために、地域の防犯、防災、交通安全等の活動に役立ててほしい」と話していました。
 今回のいただいた寄付金は、犯罪の抑止力としての防犯活動費用の一部として活用させていただきます。



ボートレースチケットショップ岩間 施設の様子

右から東原組合長、山口市長